

## 【本日の説教アウトライン】

### 神の喜びのために創造されているということ

「あなたは万物を創造なさいました。あなたの喜びのために全ては存在し造られたのです。」黙示録4:11b NLT

#### ●私の人生の第一の目的は神を礼拝することです

「私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。」ローマ12:1 (新改訳)

a) 礼拝は神の愛に対する私の応答である。

b) 礼拝は神にお返しすることである。

「心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。」マルコ12:30

#### ●神は私たちがご自身をどのように愛するよう願っておられるか

深く考えること…「知性を尽くし」

熱い思いを持って…「心、思いを尽くし」

実際的な方法で…「力を尽くし」

#### 1. 礼拝は神に私の注意を集中することである

「あなたは、祈るときには自分の奥まった部屋にはいりなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。」マタイ6:6

#### 2. 礼拝とは神に対する私の愛を表現することである

「あなたはほかの神を拝んではならないからである。その名がねたみである主は、ねたむ神であるから。」出エジプト34:14

「わたしは誠実を喜ぶが、いけにえは喜ばない。全焼のいけにえより、むしろ神を知ることを喜ぶ。」ホセア6:6

#### 3. 礼拝は神のために私の能力を用いることである

「何をすることも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。」コロサイ3:23

「そういうわけで、肉体の中にあろうと、肉体を離れていようと、私たちの念願とすところは、主に喜ばれることです。」2コリント5:9 ■

## 【今週の暗唱聖句】 40日の旅／第二週 礼拝 マルコ12:30

心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、  
あなたの神である主を愛せよ。マルコ12:30

「愛」はこの命令が示すように、どこまでも主体的、能動的な「行為」であり、淡い感情や感覚、気持ちではない。私たちに与えられている全ての能力…意志&理性&感情…をもって、神を「知ろう」とし、その神に「尽くす」ことがここで命令されていることである。救われても自己中心な性質が残る私たちにとり、神を愛することは自然なことではなく、努力を要する。しかし自己中心をやめ、神を愛し、従順を選ぶ時に「喜び」が見返りとして得られるという秘密があるのだ。愛することと喜びが連鎖となる時、人の体質が変えられて行く。人格の成長とはつまりこの「愛する能力」の獲得に他ならない。■

## 【祈りに関する学び（2）】

### 逆境の中で一途いちずに祝福を求める

ヤベツは彼の兄弟たちよりも重んじられた。彼の母は「私が苦しみのうちにこの子を産んだから。」と言って、彼にヤベツという名をつけた。ヤベツはイスラエルの神に呼ばわって言った。「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。御手が私とともにあり、わざわいから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてくださいますように。」そこで神は彼の願ったことをかなえられた。I 歴代誌4:9～10

ブルース・ウィルキンソンが2000年に「ヤベツの祈り」を出版するまでの二千年に及ぶ長いキリスト教史の中で、ユダ部族のこの人物が「信仰の人」として脚光を浴びたことはなかったと言われている。

このヤベツは聖書の中で最も人々が読みたがらない「系図」の中のたった二節にしか登場しない。しかしこの二節は何と雄弁に物語るだろう。「ヤベツ」とは「悲しみ」という意味である。どのような困難だったかは分からないがヤベツは逆境の中に生まれた。しかし苦しみや悲しみほど人々を神に向かわせる物はない。自分の力の及ばない状況の中でヤベツはもっとも確実な祝福の源である神に向かい、そこで、どこまでも素直に、どこまでも一途に「祝福」を求めた。

事実、神は私たちが本能的に「幸福」を追求するように創造された。そしてその幸福追求の「答え」もセットで備えられたのだ。この宇宙で誰がいちばん人間の幸福を願い、祝福したいと願っているだろうか。それは神ご自身なのである。人間の幸福追求の答えは神ご自身なのである。ヤベツは的を得た求めをした。私たちも彼に倣おう。■